

◆3年生の底力を見た！

文化祭 その2

★文化祭から学んだこと ～生徒作文より～

11月8日に文化祭があった。自分たちのクラスは、体育祭が最下位だったので、クラスみんなで「絶対最優秀賞とろう！」と力を合わせて頑張った。そのせいかはわからないけれど、僕も今までになく合唱の練習を頑張ったし、クラスにも一体感が生まれた。見ている指揮者、伴奏者にも気合が入っていて、本番が楽しみになった。本番当日、合唱が2年生まで終わり、いよいよ自分たちの番が近づいてきた。舞台袖で、準備しているとき、クラスみんなで、「最優秀賞やぞー！」「最高の合唱にしよう！」などの声がたくさん聞こえてみんなの心が一つになった気がした。自分たちの歌はあつという間に終わり、結果発表になった。結果は最優秀賞で、みんなすごく喜んでいて。他の聞いていた人などから、「すごく綺麗で感動した」など言ってくれた。僕はこの最優秀賞は一人のものではなく、みんなが努力し、心が一つになってできた結果だと思う。仲間・努力の大切さを改めて感じさせられた文化祭だった。



私は、文化祭の学年発表で、太鼓をしました。そこから学んだことは3つあります。1つ目は、太鼓をたたく前に準備があります。その時に、太鼓のカバーをとり、台に乗せ、運びます。それを皆と協力し、時間を無駄にしないよう急いでします。そこで私は仲間と協力し合う大切さを学びました。2つ目は、太鼓を初めてする人にとって、教えてもらえることはとてもありがたいことだと分かりました。先生たちにも感謝しなければならぬと思いました。3つ目は、誰かが困ったときに助ける大切さもあるということです。片付けも皆でするから重いものを代わりに持ってくれるとか、皆優しいなと思いました。これら、文化祭で学んだことは、仲間と協力すること、感謝の気持ち、誰かに優しくすることです。